

大学自己評価部会だより

第37号 (平成26年2月)

ディプロマ・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。

- (1) 生命科学に関する幅広い知識を習得し、自らが主体的に研究を遂行できる総合的能力が備わっていること。
- (2) 高度専門的医療人として、臨床の場で先駆的医療の発展に貢献する能力が備わっていること。
- (3) 歯学教育に関する多面的な知識と専門的知識を併せ持ち、歯学界をリードする能力が備わっていること。
- (4) 学際領域の学問分野を礎に地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること。
- (5) 円滑なコミュニケーションのもと、国際的視野に立ち、歯科医学を支える研究成果を社会へ情報発信できる能力が備わっていること。
- (6) 生涯にわたり研鑽し、歯・口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力が備わっていること。

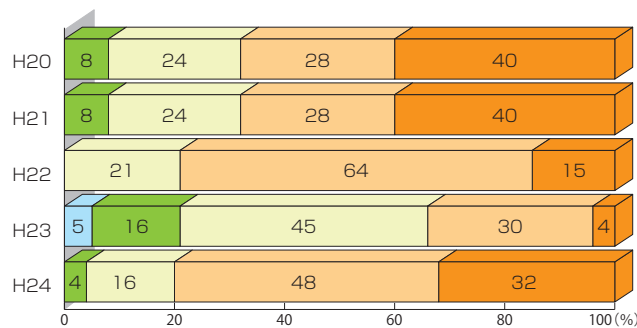
アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成20～24年度の5年間を比較しました。

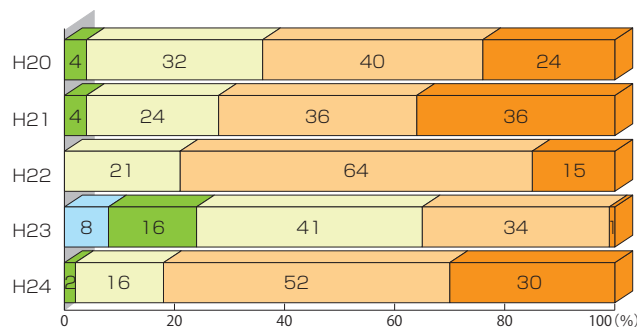
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度よりシラバスを作成し、講義・実習の充実を図ってきました。平成23年度低かった主科目、副科目・選択科目の満足度が上がって、例年並みになりました。

主科目に対する満足度



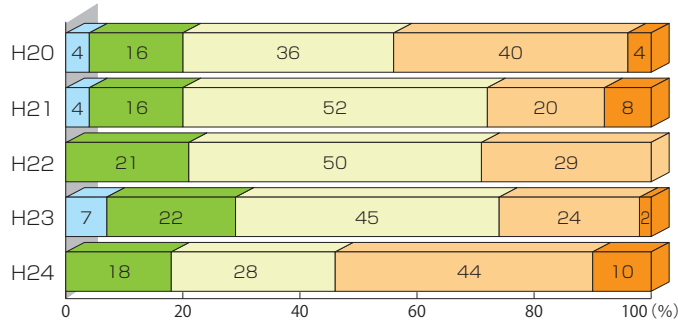
副科目・選択科目に対する満足度



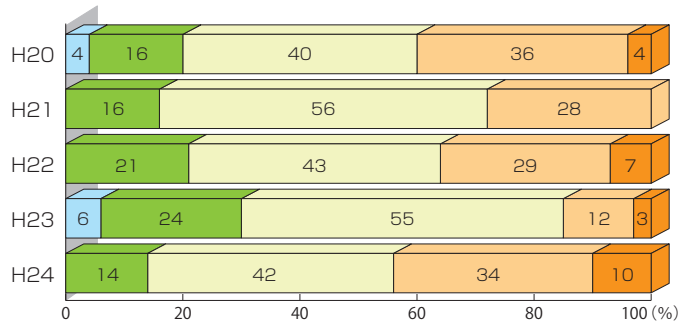
② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の判り易さ、学習相談(研究に関する相談)や助言についての適切さについては、5年間大きな変化は見られません。大学院生のニーズを大学が把握しているかということについては、平成23年度に約10%を占めていた「そう思わない」が0になりました。

授業要綱は判り易いですか

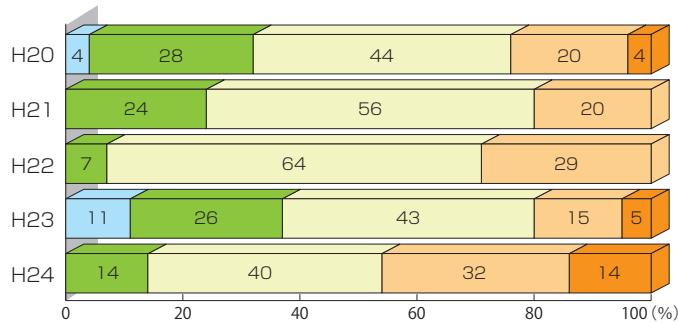


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

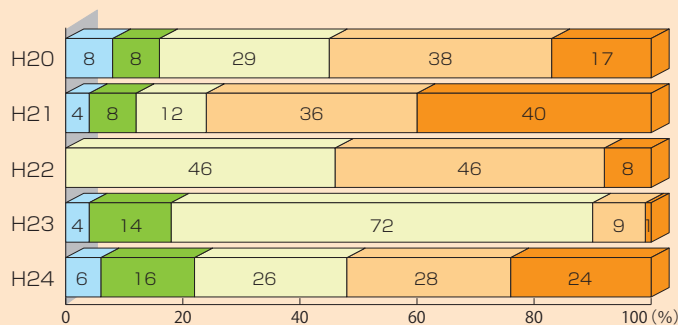
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



③ 研究指導に対する満足度

上記の項目では昨年度から改善傾向が見られたのですが、**研究指導に対する満足度の低い学生の割合は殆ど変わっていません。**指導教員の先生方は大学院生と良くコミュニケーションをとり、お互いが納得する形で研究を進めることが大切です。

現在の研究指導に満足していますか



- 高い
- 少し高い
- 普通
- 少し低い
- 低い